

＜平成24年度薩摩川内市事務事業評価表＞

1 事務事業の位置付け(Plan)									
事務事業名	生涯学習推進事業				担当者	吉永智秋			
所管部課名	企画政策部コミュニティ課				事業の根拠 (根拠法令)				
事業の種類	☒ ソフト事業 ☐ 建設・整備事業 ☐ 施設管理 ☐ 内部管理								
総合計画上の 位置づけ	施策の 基本方針	政策 (章)	地域の特色を活かした教育・文化 のまちづくり	主要施策 (節)	生涯学習の推進				
				施策 (項)	生涯学習推進体制の構築				
予算科目 等	会計	一般			款	総務費			
	項	総務管理費			目	企画費			
	事項	生涯学習推進事業費			細事項	生涯学習推進事業費			
事業の概要									
市民が「いつでも、どこでも、だれでも、何でも」学習できる生涯学習社会を実現するために、各種講座の開催を推進するとともに、学習発表の場を提供する。									
2 事務事業の実施 (Do)									
事業の 内容	対象 (誰を、何を 対象とする 事業か)	全市民			事業開始年度		平成16年度		
	手段 (市がどの ような活動 をするか)	地区コミュニティ協議会へ生涯学習(講座等)の参考事例を紹介して、講座の多様化・活性化を促す。 生涯学習フェスティバルで、成果発表を行う。	活動指標 (市として何を行うか?)	指標名	地区への周知・啓発回数				
				最終目標値	6回(2ヶ月に1回)				
				最終年度	平成26年度(継続)				
	意図 (どのような 目的で事業 を行うか)	生涯学習(講座等)を、多様化・活性化して、だれでも参加しやすい生涯学習を推進することを目的とする。	成果指標 (活動をした上で、目標となる成果をどのように設定するか?)	指標名	生涯学習フェスティバルへの参加申込数				
				最終目標値	130団体				
最終年度				平成26年度(継続)					
経費及び 指標の 推移	項目	単位	平成22年度 決算	平成23年度 決算	平成24年度 予算額	平成25年度 見込み	平成26年度 見込み		
	事務事業費	千円	5,312	5,117	4,837	4,781	4,731		
	報償費		52	77	122	122	122		
	旅費		113	84	139	139	139		
	需用費		304	294	281	275	275		
	委託料		4,505	4,428	4,250	4,200	4,150		
	使用料及び賃借料		3	4	10	10	10		
	負担金補助金及び交付金		335	230	35	35	35		
	要員配置状況	人	0.70	0.70	0.70	0.70	0.70		
	職員		0.70	0.70	0.70	0.70	0.70		
	嘱託員								
	臨時職員等								
	活動指標の推移	回	2	2	4	5	6		
	成果指標の推移	団体	101	102	110	120	130		
	財源 内訳	事務事業費	千円	5,312	5,117	4,837	4,781	4,731	
国・県支出金									
その他									
一般財源		5,312		5,117	4,837	4,781	4,731		

3 事業の視点別評価 (Check)	
妥当性	対象・手段の妥当性 ☒ 妥当である ☐ 改善の余地はある ☐ 妥当でない (上記選択の理由) ・市では出前講座を準備して、地区コミュニティ協議会等での講座の開催を促している。 ・市民が生涯学習の成果を発表する場としては、各地区の文化祭等や生涯学習フェスティバルが、主なものである。
	市が関与すべき妥当性 ☒ 市で実施すべき ☐ 民間でも可能 ☐ 民間で実施すべき (上記選択の理由) ・多様化するニーズに対応するために、新たな人材の発掘・育成、講座の開設も進めなければならない。 ・生涯学習フェスティバルが市民の最大の発表の場である。コミュニティマーケットと同時開催することで、10,000人を超える来場者があり、その後の様々な活動にも反響がある。
	事業費の削減余地 ☐ 削減余地がある ☒ 削減余地はない (上記選択の理由) ・生涯学習の実施状況の資料等は、各地区コミュニティ協議会へも配布しており、各地区での取り組みの参考になっている。 ・生涯学習フェスティバルは、市民に広く認知され、参加者も増加傾向にあり、大きなイベントになりつつある。
	人件費の削減余地 ☐ 削減余地がある ☒ 削減余地はない (上記選択の理由) ・現在一人の担当者で対応しているので、削減余地はない。生涯学習フェスティバルの開催に当っては、企画政策部内各課から職員を要員として配置している。
効率性	成果の達成度 ☐ かなり高い ☒ やや高い ☐ 低い (上記選択の理由) ・生涯学習の実施状況の資料等は、各地区コミュニティ協議会へも配布しており、各地区での取り組みの参考になっている。 ・生涯学習フェスティバルは、市民に広く認知され、参加者も増加傾向にあり、大きなイベントになりつつある。
	成果の向上余地 ☐ かなりある ☒ ある程度ある ☐ ほとんどない (上記選択の理由) ・地区コミュニティ協議会では、自主学級が245学級開講され、出前講座も330回開催されている。 ・市民のニーズが多様化しており、新たな講座の開設も進めなければならない。
4 事業の改革・改善の方向性 (Action)	
内部評価 (一次)	内部評価結果 今後の改革の方向性 ☒ 現状のまま継続 ☐ 見直しの上で継続 → 今後の方向性 ☐ 拡大 ☐ 他の事業と統合 ☐ 手段の改善 ☐ 移管 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止 上記方向の理由 ・生涯学習フェスティバルが市民の最大の発表の場である。コミュニティマーケットと同時開催することで、10,000人を超える来場者があり、その後の様々な活動にも反響がある。
	改革・改善の内容とそれを実施していくための手段・計画
	外部評価結果 事業の視点別評価 妥当性 ⇒ ☐ 高い ☐ 低い 効率性 ⇒ ☐ 高い ☐ 低い 有効性 ⇒ ☐ 高い ☐ 低い
	今後の改革の方向性 ☐ 現状のまま継続 ☐ 見直しの上で継続 → 今後の方向 ☐ 拡大 ☐ 他の事業と統合 ☐ 手段の改善 ☐ 移管 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止 外部評価結果のまとめ
外部評価 (二次)	

平成22年度薩摩川内市生涯学習実績報告

1 市及び公共団体が実施した生涯学習事業

294事業 延べ参加者数129,998名

【内訳】

総務部 (4事業) 8,908名 (租税教室・交通安全運動等)
企画政策部 (13事業) 12,054名 (生涯学習フェスティバル・男女共同参画・原子力
見学等)
市民福祉部 (22事業) 6,055名 (消費生活講座・高齢者健康教育・育児講演会・施
設見学等)
商工政策部 (17事業) 3,232名 (語学講座・国際交流事業等)
建設部 (1事業) 7名 (南瀬小学校での景観学習)
消防局 (2事業) 5,485名 (救命講習・自主防災組織訓練)
樋脇支所 (13事業) 2,518名 (交通安全運動・健康教室・食生活改善の料理教室等)
入来支所 (5事業) 609名 (健康づくり栄養教室・食生活の講話等)
東郷支所 (6事業) 623名 (健康教室・交通安全教室等)
祁答院支所 (3事業) 43名 (地区コミュニティ協議会役員等研修会)
里支所 (5事業) 585名 (里地域生涯学習推進大会・健康づくり栄養教室等)
上甕支所 (4事業) 774名 (上甕ふるさと総合文化祭・郷土料理コンクール等)
下甕支所 (4事業) 622名 (竜宮フェスタ・環境学習等)
鹿島支所 (7事業) 612名 (健康づくり教室・交通安全運動等)
教育委員会 (85事業) 51,788名 (社会教育活動活性化推進事業・各種体験活動等)
まち公 (103事業) 36,083名 (まごころ文学館・せんだい宇宙での教室や展示等)

2 市内各地区が実施した生涯学習事業

913事業 延べ参加者数 114,647名

【内訳】

社会教育事業

自主学級 (245事業) 3,770名 (健康体操・音楽・生け花・家庭菜園等)
高齢者学級 (31事業) 1,257名 (講話, グラウンドゴルフ, 研修視察等)
女性学級 (43事業) 1,126名 (講話, 健康体操, 陶芸, 手芸, 料理等)
成人学級 (12事業) 344名 (講演会, 研修視察等)
青少年育成 (42事業) 3,227名 (子ども会関連事業等)
その他 (18事業) 1,117名 (各種講習会, PTA事業, 世代間交流事業等)

社会体育

各種スポーツ大会 (123事業) 21,371名

文化

伝統伝承活動 (32事業) 2,837名 (伝統芸能継承活動・講座等)
その他 (32事業) 8,548名 (歴史関係講座・事業等)
健康福祉 (60事業) 3,918名 (高齢者サロン, 独居老人訪問, 健康相談, 講話等)
農産業 (28事業) 2,213名 (ふれあい市, 農業体験事業等)
環境 (93事業) 13,077名 (クリーン作戦, 愛護作業, 花いっぱい活動等)
防犯・防災・消防 (32事業) 1,655名 (救命講習, 交通安全教室, 消防訓練等)
祭 (31事業) 13,290名 (夏祭り, 生涯学習フェア, 芸能祭等)
その他コミ協事業 (91事業) 36,897名 (各地区コミ行事・研修視察等)

3 まちづくり出前講座

10課 330事業 延べ参加者数 9,071名

【内訳】

防災安全課	(2事業)	65名	(自主防災組織の結成について)
行政改革推進課	(1事業)	20名	(市政改革の取組について)
コミュニティ課	(28事業)	870名	(男女共同参画講座, 地区コミュニティ講座等)
保険年金課	(1事業)	20名	(高齢者医療制度について)
高齢・介護福祉課	(4事業)	120名	(高齢者虐待防止について)
企業・港振興課	(8事業)	206名	(国際交流講座)
シティセールス推進課	(78事業)	2,134名	(シティセールスの概要について)
都市計画課	(17事業)	66名	(景観まちづくり講座)
文化課	(1事業)	85名	(史跡等の見学)
消防局	(190事業)	5,485名	(普通救命講座・自主防災組織訓練講座)

4 生涯学習推進本部が後援した各種事業

10事業 各種実行委員会(夏祭り・川祭り・御狩場マラソン・音楽祭等)

5 市及び公共団体が実施する生涯学習事業

215事業 予定参加者数 84,668名(延べ)
(参加者数未定の事業あり)

【主な事業】

交通安全運動等・生涯学習フェスティバル・消費生活講座・環境学習・介護予防教室等
産業祭・自治会長説明会・文化祭等・社会教育活動活性化推進事業・各種体験活動等

6 市内各地区が実施する生涯学習事業

977事業 予定参加者数 120,529名(延べ)
(参加者数未定の事業あり)

平成22年度まちづくり出前講座

出前講座は、講師料無料です。また出前講座は、企業などを含めた市内の団体やグループなどに所属する方々を対象に実施していますが、あくまでも生涯学習を支援する一環として開催しています。



平成22年度まちづくり出前講座一覽表

No	講座名	講座概要	申込先
1	薩摩川内市の財政状況講座	歳出入改革が進められ、全国の自治体が厳しい財政の厳取りを迫られているなか、本市の財政状況はどうか、また、どのような施策を講議しようとしているのかをわかりやすく説明します。	財政課 財政グループ (内線)4722
2	自主防災組織結成講座	自治会又は地区コミュニティ単位での自主防災組織の結成について、組織の必要性や防災活動のすすめ方、災害時の応急活動のすめ方等について説明します。	防災安全課 防災グループ (内線)4921
3	よまちおちやんせ定住講座	定住促進補助金制度をはじめとする本市への定住を促進するために実施している各種の取組をわかりやすく説明します。	企画政策課 企画政策グループ (内線)4852
4	まちづくり総合計画講座	市政の総合的な経営指針である第1次薩摩川内市総合計画の概要について説明し、その後まちづくり等について意見交換を実施します。	企画政策課 政策グループ (内線)4832
5	自治基本条例講座	薩摩川内市自治基本条例を示しながら市民と市の情報共有・協働・参画のあり方について説明し、その後意見交換を行います。	
6	エネルギーの中の電気エネルギーと我々の仕組み	エネルギーの中の電気の役割とその発電の仕組みについて説明します。	原子力対策課 原子力対策グループ (内線)4631
7	市政改革出前講座	市が取り組んでいる業務や、公共施設の活用、職員定数の適正化、組織見直し等、一連の市政改革について、その必要性、主旨、現状等をわかりやすく説明します。	行政改革推進課 行政改革グループ (内線)4110
8	地域コミュニティ、自治会、NPO等共生・協働の仕組み等講座	地域コミュニティ、自治会、NPO等共生・協働の仕組み等について説明します。	コミュニティ課 コミュニティ・生涯学習グループ (内線)4612
9	生涯学習出前講座	薩摩川内市生涯学習推進計画の策定に基づき、生涯学習の概要、推進について講話を実施します。	コミュニティ課 男女共同参画グループ (内線)4613
10	男女共同参画出前講座	薩摩川内市男女共同参画基本条例の説明等講座し、その後意見交換をします。	
11	地球温暖化防止講座	地球温暖化防止対策について、現在、市役所において実践している環境保全等先行計画での行動内容を紹介し、また、家庭でできる地球温暖化防止実践行動について説明します。	環境課 環境保全グループ (内線)2722
12	国民健康保険制度について	制度概要、医療費の適正化、特定保健指導について説明します。	国民健康課 国民健康グループ (内線)2611
13	後期高齢者医療制度について	制度概要、医療費の適正化、長寿健診について説明します。	国民健康課 高齢者医療グループ (内線)2631
14	介護保険制度について	制度概要、要介護（要支援）認定、介護給付適正化について説明します。	国民健康課 審査・給付グループ (内線)2656
15	子育て支援事業ファミリアサポートセンター編	子育ての援助を受けたい（おねがい会員）と子育ての援助を行いたい（まかせて会員）が登録し、お互いに育児の助け合いを行う、ファミリアサポートセンター事業のしくみ（支援内容・会員の資格・報酬等）について分かりやすく説明します。	子育て支援課 ファミリアサポートセンター (内線)1021
16	高齢者虐待を防止しましょう	高齢者虐待の予防・早期発見により、高齢者の尊厳を保ち、自分らしく生活できるように支援する制度について説明します。	
17	成年被监护人制度とは	認知症など精神上の障害によって判断が低下した人たちが、自分らしく安心して生活できるように支援する制度について説明します。	地域包括支援室 管理グループ (内線)2195

No	講座名	講座概要	申込先
18	国際交流講座	中国・韓州市と1991年（平成3年）に友好都市継続して共生で号20周年を迎えます。普通市民との友好の橋を更に広げていくために、国際交流員による南熱市の歴史・文化・習慣や経済発展の様子などを紹介します。	企業・連携課 国際交流グループ (内線)4342
19	「行きたい・聞きたい・暮らしたい」わがまちCS講座 ペンティセールズの概要～	本市の知名度・好感度を高めることで地域住民や来訪者における満足度を確保するたため「行きたい」「聞きたい」「暮らしたい」をキーワードに、本市の特色と魅力をPRする「シアターセールズ」の進め方について、分かりやすく説明いたします。	シティセールス推進課 企画政策グループ (内線)1521
20	景観まちづくり講座	先人たちが古の時代から守り、伝えてきた「ふるさと」の景観」を次の世代に伝えることを目的とした「薩摩川内市ふるさと景観計画」について、わかりやすく説明します。	都市計画課 景観グループ (内線)3424
21	建築物の耐震診断及び耐震改修のシステム	建築物の耐震診断や耐震改修の普及啓発を目的とした説明を行うと共に、パンフレットを利用した木造住宅の耐震診断について講義します。	建築住宅課 建築指導グループ (内線)3643
22	がけ地近接等危険住宅移転事業について	がけ地近接等危険住宅の危険性について説明を行うと共に危険住宅から移転を行おうとする者に対する補助金制度の説明をします。	
23	「地震調査 最初め」えっ！日本震紀に載ってるの？	小中学生を受講対象とし、地震調査に興味を持たせ、その必要性を判りやすしく説明するため、図面により地震調査の歴史について説明します。その後、市の状況を説明し、この仕事の重要性を理解してもらいます。	用地課 地籍調査グループ (内線)3711
24	普賢救急講習	地域や職場、サークル等6名以上のグループを対象に、希望の場所へ出向き3時間の講習会を実施します。講習内容は、自動車外式補助機器（AED）の使用方法を含む心臓蘇生法です。受講者は、修了証を交付します。	消防局予防課 予防急務課 消防急務係 (内線)22-0119
25	自主防災組織訓練指導	自主防災組織を対象に、希望の場所へ出向き、消火器の取扱や避難方法、災害現場での簡単な応急処置等を指導します。	
26	住宅用火災警報器設置促進説明会	地域、職場、各種会合に出向き、住宅用火災警報器の必要性、購入方法、設置場所、設置方法などを説明指導します。	消防局予防課 予防急務係 (内線)22-0120
27	公民館事業講座	公民館施設の紹介や公民館事業として取り組んでいる市民大学・自主学級などの学習内容・利用方法について説明します。	社会教育課 社会教育グループ 青少年教育グループ 22-7251
28	家庭教育事業講座	家庭教育の充実が叫ばれている中で、教育の原点である家庭教育の質的向上を図りながら、家庭教育学習級を円滑に進めるために、学習の進め方等について説明します。	
29	青少年の健全育成講座	本市の青少年を取り巻く環境と、青少年の健全育成を図っていく上で、方策や心構えについて説明します。	
30	文化財を知る 薩摩川内市の文化財講座	文化財は、長い歴史の中で生まれ、育まれました。今日の世に守り伝えられてきた貴重な市民の財産です。指定文化財の紹介から文化財を将来にわたるためのお話まで、市民の文化財についてお話しします。	文化課 文化財グループ (内線)3232
31	初心者のための読み聞かせ講座	家庭や地域で気軽に実践できるよう、対象に合った本などの選び方や、読み方を紹介します。	中央図書館 図書グループ 22-3542
32	視聴覚機器操作講座	地域活動に活用できるよう、プロジェクターなど視聴覚機器の使い方や、対象に合わせた教材（ビデオ・DVD）を紹介します。	
33	リサイクル推進講座	資源ゴミの分別の徹底と、リサイクルの重要性をおしえて循環型社会の形成を説明します。	福祉政策課 市民生活課 市民生活グループ 55-1111（内線）321

* 問い合わせ先
本市生涯学習推進本部事務局（本庁コミュニティ課コミュニティ・生涯学習グループ）
〒895-8650 薩摩川内市川内市神田町3番22号
TEL0996-23-5111（内線4614） Fax0996-20-5570

生涯学習フェスティバルに関する推移

来場者数の推移

単位:人

年 度	H20	H21	H22	H23
人 数	5,000	7,000	10,000	10,000
対前年比	—	2,000	3,000	0

作品展示団体の推移

A	年 度	H20	H21	H22	H23
	団 体 数	51	56	56	58
		内訳	内訳	内訳	内訳
	自主学級等	16	14	16	19
	コミ協	25	31	28	27
	市	8	9	10	10
	まち公	2	2	2	2
	対前年比	—	5	0	2

舞台発表団体の推移

B	年 度	H20	H21	H22	H23
	団 体 数	12	10	12	13
	対前年比	—	-2	2	1

体験コーナーの推移

C	年 度	H20	H21	H22	H23
	団 体 数	7	8	7	7
	対前年比	—	1	-1	0

記念講演講師

年 度	H20	H21	H22	H23
講 師 名	草野 満代	小沢 昭一	池上 彰	笹野 高史

同時開催コミュニティマーケット出店数

D	年 度	H20	H21	H22	H23
	ブ ラ ン ド 市	19	21	26	24
	フリーマーケット	60	61	59	58

参加団体集計(A～D)

年 度	H20	H21	H22	H23
団体数	89	95	101	102

平成23年度（第7回）

生涯学習フェスティバル

日時 **2月26日(日)**

会場 **薩摩川内市総合運動公園**
(サンアリーナせんだい)



記念講演

講師 **笹野 高史** 氏(俳優)
演題『待機晩成』

出会い、繋がり、広がる生涯学習の輪

学びで生まれる強い

絆

舞台行事(メインセクション)

- 舞台発表…10:30～13:00
- 記念講演…14:30～16:00



体験セクション

2月26日(日)

- 学習体験コーナー…10:00～13:30
- 食育コーナー…10:00～16:00

展示セクション

- 2月25日(土)…13:00～16:00
- 2月26日(日)…9:00～16:00

各地区コミュニティ協議会、各種学級、講座学習展示

同時開催事業

コミュニティマーケット

2月26日(日)9:00～16:00

- ブランド市(コミュニティ協議会による特産品市)
…玄関前広場
- フリーマーケット(各種団体や一般のフリーマーケット)
…第一駐車場



入場無料
託児有ります(無料)

主催：薩摩川内市生涯学習推進本部・薩摩川内市・薩摩川内市教育委員会
問合せ先：薩摩川内市役所 企画政策部 コミュニティ課 Tel.0996-23-5111

外部委員評価作業シート

番号:3 事務事業名:生涯学習推進事業

○視点別評価

委員名

視 点	事 務 事 業 を 評 価 す る 際 の 着 眼 点
妥 当 性	・事業実施の対象・手段は適切か ・市民ニーズを反映しているか（ニーズが薄れていないか） ・国や県、他の課の事務事業と重複または類似していないか ・民間で実施する方が、より成果や効率性が高まらないか ・すでに期待した目的を達成した事業ではないか ・社会情勢の変化による目的や対象・手段について見直しの余地はないか
効 率 性	・更なるコスト削減が図れないか ・費用対効果は適切か ・従事職員数は適切か ・他の実施主体を活用し、コスト削減が図れないか ・整理・統合できる事業はないか
有 効 性	・目的に沿って期待通りの成果があるか ・事業継続により成果の向上が期待できるか ・コストに対し、十分な成果があがっているか
事業の視点別評価	■ 妥当性 ⇒ □ 高い □ 低い ■ 効率性 ⇒ □ 高い □ 低い ■ 有効性 ⇒ □ 高い □ 低い

○評価区分

区 分	評 価 の 理 由	チェック
現状のまま継続	・事業内容や実施方法が適切である ・事業規模（予算）が適切である	
見直しの上で継続	拡大 ・事業規模（予算）を拡大すべきである ・対象範囲を見直す必要がある	
	統合 ・他の事務事業と統合すべきである	
	手段の改善 ・事業内容や実施手法を見直す必要がある ・業務処理の効率化を図るべきである ・民間で実施した方が効果的・効率的である ・市民ニーズの再把握が必要である	
	移管 ・他の課・部署へ移管すべきである	
	縮小 ・事業規模（予算）を縮小すべきである ・対象範囲を見直す必要がある	
休 止	・目的の達成状況、社会情勢の変化から、事業実施の必要性・緊急性がない又は低い。	
廃 止	・市で実施する妥当性がない ・目的の達成手段として不適切である ・事業効果がない又は低い ・実施の必要性がない又は低い ・他の事業と重複している	
今後の改革の方向性	☐ 現状のまま継続 ☐ 見直しの上で継続 ⇒ 今後の方向性 ☐ 拡大 ☐ 他の事業と統合 ☐ 手段の改善 ☐ 移管 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止	



外部評価結果のまとめ（行政改革推進委員会の意見）

■評価■（今後の改革の方向性）

■付記する意見■